JCHO 湯河原新聞 VOL.2 10月

例年よりも 早く流行が ています!

インフルエンザ



人一人の予防と早めの治療が大切です!

予防

インフルエンザワクチンはインフルエンザの発症を 100%予防するものではありま せん。主な効果は重症化予防です。また、発症リスクの低減、合併症リスクの低減、 入院や死亡リスクの低減、二次感染の拡大防止などが期待されます。











よ当院でもインフルエンザワクチン接種を行っていますので、ご相談ください!*

症状は呼吸器症状!















- ◆潜伏期間は1~5日(平均3日) 発症後3日程度までの感染力が特 に高い!
- ◆風邪と思い込んで適切な対応を行 わない場合に、感染が広がりますの で注意しましょう。

治療

- ◆多くの人が特に治療を行わなくても1週 間程度で自然治癒しますが、基礎疾患の ある人や高齢者・乳幼児では、肺炎を起 こしたり、基礎疾患の悪化を招き重症化 したりすることもあります。
- ▶インフルエンザは治療薬があります。

名称	投与方法	回数
ゾフルーザ	経口	1 🗆
タミフル	経口	1日2回×5日間
イナビル	吸入	1 🛭
リレンザ	吸入	1日2回×5日間
ラピアクタ	点滴	1 🗆

